

## 令和6年度キャリア教育指導者養成研修 実施要項

### 1 目 的

児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくため、各教科・科目等の特質に応じたキャリア教育を充実させることが求められている。

本研修では、学校や地域において、1) キャリア教育に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し組織的な取組を推進する力、2) 教職員の専門性向上を推進する力、を習得した指導者の養成を図る。

### 2 主 催 独立行政法人教職員支援機構、富山県教育委員会

### 3 共 催 文部科学省

### 4 期間・標準定員等

回	期 間	都道府県	標準定員
第1回	令和6年 6月11日(火) ～6月14日(金)	北海道、岩手県、秋田県、福島県、 栃木県、茨城県、東京都、新潟県、 石川県、山梨県、岐阜県、愛知県、 滋賀県、大阪府、奈良県、鳥取県、 岡山県、山口県、香川県、高知県、 佐賀県、熊本県、宮崎県、沖縄県	80名
第2回	令和6年 8月20日(火) ～8月23日(金)	青森県、宮城県、山形県、群馬県、 埼玉県、千葉県、神奈川県、富山県、 福井県、長野県、静岡県、三重県、 京都府、兵庫県、和歌山県、島根県、 広島県、徳島県、愛媛県、福岡県、 長崎県、大分県、鹿児島県	80名

※各都道府県・指定都市教育委員会等は、所在する都道府県が該当する開催回に推薦すること。

※該当しない開催回に推薦することも可能である。ただし、定員を超過し参加者数の調整をする場合には、該当する開催回に推薦された参加者を優先する。

### 5 実施方法 対面研修

### 6 会 場 パレブラン高志会館（〒930-0018 富山県富山市千歳町1-3-1）

### 7 参加者

#### (1) 参加資格

ア 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じるもの

イ 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭等であって、各地域において本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者

※全日程を通して参加できる者を推薦すること

※「第5次男女共同参画基本計画」（令和2年12月25日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教

職員の割合を 25%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

(2) 推薦人数

各都道府県教育委員会においてはコース毎に 2 名程度とする。各指定都市教育委員会においてはコース毎に 1 名程度とする。

各中核市教育委員会、各都道府県知事部局、附属学校を置く各国公立大学、国立青少年教育振興機構においては両コース合わせて 1 名程度とする。

(3) 推薦手続

第 1 回開催分の推薦期限は、令和 6 年 4 月 26 日（金）とする。

第 2 回開催分の推薦期限は、令和 6 年 6 月 14 日（金）とする。

推薦する機関においては、推薦する候補者を取りまとめて、「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式 1] により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(4) 参加者の決定

推薦する機関からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。ただし、標準定員を超過する場合は、参加者数を調整する。そのため、「研修システム」により推薦を行う際に、候補者毎に推薦順位を入力すること。

8 研修内容

別紙 1「日程表」のとおりとする。

小学校・中学校・高等学校におけるキャリア教育の定着や充実をねらいとし、発達段階に応じたキャリア教育の在り方やキャリア教育推進のための具体的な手立て等について、演習や課題協議を実施する。また、3 日目～4 日目午前の一部の日程において、「経営コース」と「推進コース」に分かれて研修を行う。各コースの対象と内容は以下のとおりとする。

【経営コース】

対 象	・教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事等 ・校長、副校長及び教頭等
内 容	演習等を通して、キャリア教育を域内や校内で推進する上で必要な連携体制の在り方や、キャリア教育の評価・改善方策などを協議する。

【推進コース】

対 象	・教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事等 ・主幹教諭、指導教諭及び教諭等
内 容	演習等を通して、各教科等においてキャリア教育の充実を図るための指導の在り方や工夫、個に対する指導の在り方などを協議する。

9 事前課題

(1) 【課題様式 1】研修成果活用計画書の作成

参加者及び所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法等については、参加者決定時に別途連絡する。

(2) 【課題様式 2】キャリア教育実践状況報告書の作成

演習・協議用資料として、事前にキャリア教育の実践状況についてまとめた資料（A4 用紙 1 枚程度）を作成し、提出すること。なお、内容、提出期限、提出方法については、参加者決定時に別途連絡する。

(3) 【課題様式 3】事前録画講義レポートの作成

事前に録画講義を視聴し、視聴内容についての課題を提出すること。なお、内容、提出期限、提出方法については、参加者決定時に別途連絡する。

10 研修成果の活用

本研修は、参加者の研修成果を各学校や当該地域で活用することを前提としている。そのため、研修終了後、1 年程度の期間を経た後に、研修成果の活用状況（研修企画、研修講師、他校訪問等）についてのアンケート調査を実施する。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

11 その他

(1) 所定の課程を修了した参加者には、修了証書を授与する。参加者推薦の際に、必ず参加者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) 本研修では、「Google Workspace」を利用する。利用に際し、Google アカウントや簡易マニュアルは当機構で作成し、参加者決定時に連絡する。

(3) 宿泊の手配等については各自で行う。本研修の参加に際し、特別な配慮が必要な者(障害、持病等)を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

(4) 「全国教員研修プラットフォーム(以下、「プラットフォーム」という)を利用している自治体からの参加者に関しては、プラットフォームへの本研修の修了状況の登録を当機構で行う。

登録に当たって、参加者のプラットフォームログイン ID が必要となるため、プラットフォームを利用している自治体は、推薦を行う際に研修システムより候補者毎にプラットフォームログイン ID を入力すること。